

**JASDAQ**

2020年5月15日

各 位

シライ電子工業株式会社
代表取締役社長 小谷峰藏
(コード番号: 6658)問い合わせ先: 取締役 経営管理担当
福留雅己
電話番号: 075-861-8100営業外収益、特別損失の計上及び2020年3月期業績予想と実績値との差異
並びに期末配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2020年3月期(2019年4月1日～2020年3月31日)におきまして、下記のとおり営業外収益、特別損失を計上するとともに2019年11月14日に公表(以下「前回公表」という)いたしました2020年3月期(2019年4月1日～2020年3月31日)の連結業績予想につきまして、実績値との差異が発生することになりましたので合わせてお知らせいたします。

また、2020年3月期の期末配当につきまして、1株当りの配当を下記のとおり修正することを2020年5月開催の取締役会で決議することとなりましたので、合わせてお知らせいたします。

記

1. 営業外収益の計上

中国にある持分法適用関連会社である科恵白井電路有限公司の業績が好調であったため、当期末連結決算におきまして、営業外収益に192百万円の持分法による投資利益を計上いたしました。

2. 特別損失の計上

国内事業の悪化により、埼玉県に拠点を置くP板開発サービス事業の収益性が低下したこと等により、当期末連結決算におきまして、減損損失169百万円を特別損失に計上いたしました。

3. 連結業績予想と実績値との差異(2019年4月1日～2020年3月31日)

① 連結業績予想と実績値との差異

(単位:百万円・%)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 (円) |
|------------------------|--------|------|------|-------------------------|-----------------------|
| 前回発表予想(A) | 26,800 | △200 | △320 | △450 | △32.20 |
| 今回実績(B) | 26,135 | △98 | △146 | △500 | △35.82 |
| 増減額(B-A) | △665 | 102 | 174 | △50 | — |
| 増減率(%) | △2.5 | — | — | — | — |
| (ご参考) 前期実績 2019年3月期 | 28,632 | 362 | 275 | △226 | △16.23 |

② 差異発生理由

売上高につきましては概ね予想どおり推移いたしました。利益面につきましては国内外で利益改善策に取り組んだ結果、特に海外での利益が予想を上回ったことから、前回公表いたしました業績予想に対し営業利益、経常利益は改善となりました。一方、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、特別損失に

計上した減損損失を業績予想の段階においては、その発生を予想していなかったことから、前回公表いたしました業績予想に対し悪化となりました。

4. 2020年3月期の期末配当予想の修正

① 2020年3月期（2019年4月1日～2020年3月31日）の配当予想

| | 中間配当金 | 期末配当金 | 年間配当金 |
|----------------------|-------|-------|-------|
| 前回予想 (2020年2月14日) | — | 5円00銭 | 5円00銭 |
| 今回修正 | — | 無配 | 無配 |

(参考)2019年3月期の1株当たり配当実績

| | 中間配当金 | 期末配当金 | 年間配当金 |
|------------|-------|-------|-------|
| 2019年3月期実績 | — | 5円00銭 | 5円00銭 |

② 修正の理由

当社は、株主の皆様への利益還元を経営の重要課題と位置付けており、配当原資確保のため収益力を強化すると同時に企業体質強化のための内部留保を勘案し、業績に裏付けられた適正な利益配分を継続的かつ安定的に行うことを基本方針としております。

しかしながら、2019年3月期に復配して以降、継続して配当を行ってきたものの、2020年3月期におきましては、事業環境の悪化に加え、減損損失処理による特別損失を計上することとなり、大幅な親会社株主に帰属する当期純損失を計上することとなりました。

また、新型コロナウイルスの感染が世界的に拡大している状況を踏まえ、今後の経営環境が非常に不透明な状況にあることなどを総合的に勘案した結果、誠に遺憾ではございますが、2020年3月期の期末配当につきましては無配とさせていただかざるを得なくなりました。株主の皆様には深くお詫び申し上げますとともに、今後の業績回復に向け努力してまいりますので、何卒、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

以上